

平成 30 年度

公益社団法人 地盤工学会
第 5 回 会員・支部部会
議 事 録

日 時：平成 30 年 12 月 20 日（木）14：30～17：00		会場：地盤工学会 地階会議室			
理 事 会 員・支 部 部 長（地盤品質判定士担当，技術普及委員会委員長）		小田部 雄 二 ○			
理 事 金 子 敏 哉 （会 員・支 部 担 当）	○	理 事 北 田 奈 緒 子 （男 女 共 同 参 画・ガ ー ン 担 当）	×	理 事 山 口 晶 （会 員・支 部 担 当）	○
部 員 石 井 裕 泰	○	部 員 石 川 敬 祐	○	部 員 遠 藤 一 郎	×
部 員 田 中 真 弓	×	部 員 原 田 克 之 （継 続 教 育 シ ス テ ム 委 員 会 委 員 長）	×	部 員 松 尾 賢 太 郎	○
部 員 中 村 裕 昭 （地盤品質判定士担当）	○	理 事・副 会 長 田 中 耕 一	○	オブザーバ 片岡 沙都紀 （男 女 共 同 参 画・ガ ー ン 委 員 会 委 員 長）	○
事 務 局：伊 佐 治 ○ 長 尾 ○ 渡 邊 ○					

○：出席 ×：欠席 △：未定

◎本日の議事録作成担当者（小田部部長）

- ・議題書にある中村部員の「新部員」の「新」は削除する。

議 題：

1. 前回議事録の確認（2018 年 10 月 19 日開催）
資料－1 pp. 1～ 3
・確認して承認した。
2. 理事会報告（2018 年 10 月（書面），11 月開催）
資料－2 pp. 4～ 14
・小田部部長が資料を元に説明した。
3. 部全体に係る活動（理事会（総務部）からの検討依頼を含む）
 - 1) 平成 31 年度事業方針・計画案，予算案，まえぶん
資料－3 pp. 15～ 39
・事業計画や予算対応等を含め，各委員長と部員と連携して対応する。
・事務局より二次予算の説明があり，承認した。
 - 2) 特別会員表彰に関する事項
資料－4 pp. 40～ 42, 77～79, 回覧
・表彰制度についての検討
・2019 年度表彰について
・小田部部長が資料を元に説明し，承認した。
 - 3) 名誉会員推薦依頼
資料－5 p. 43
・小田部部長が資料を元に説明し，該当者がいれば推薦する。
4. WG 活動
 - 1) 特別会員強化 WG
資料－6 pp. 44～ 56
・支部サポーター制度
・田中副会長が資料を元に説明した。
・「会員及び支部に関する規程」は「公益社団法人地盤工学会規則」と重複している部分が多く，同規程の位置づけなどを踏まえた継続的な改善検討が必要であるとの意見があった。
・「公益社団法人地盤工学会規則」について，第 2 章のタイトルの順番が条文と不整合，第 13 条は現状を反映した文章に変更，退会についての条文が無いので 15 条に追記する必要があるとの意見があった。
・改定案は田中副会長が検討し，後日メール審議に諮る。
 - ・特別会員特典の補強
資料－7 p. 57
・田中副会長が資料を元に説明した。
・特典その 2 については広報委員会との連携が必要であり，連絡委員の石井部員が調整を行う。
・特典その 3 については，4 級会員には配布せず，3 級会員以上に配布する方向とし，田中副会長が再度検討し，必要に応じてメール審議に諮る。
 - 2) 地盤品質判定士 WG
資料－8 pp. 58～ 61
・地盤品質判定士に関する報告
資料－9 p. 62
・判定士活動状況表（CPD 付与行事等）

- ・小田部部長が資料を元に説明し、CPD については承認した。

5. 所管委員会関連

1) 技術普及委員会

- ・配信講習会に関する事項 資料-10 pp. 80~ 82
 - ・小田部部長が資料を元に説明し、内規の変更案については承認した。
- ・講習会企画 (2 件+ α) 資料-11 欠番
- ・講習会の収支経過報告 資料-12 p. 83
 - ・小田部部長が資料を元に説明した。
 - ・11 月の理事会で次回の理事会より報告することになっているが、データを整理して1月の理事会で報告するとの説明があった。
 - ・これまでの講習会の参加人数と収支について整理し、部員にメールで報告する。
 - ・資料-12 の一覧表の右上欄にある「収入の」は削除する。

2) 男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会

- ・座談会の開催 資料-13 p. 63
 - ・片岡委員長が資料を元に説明した。
 - ・事務局の案内が遅れているので早急に対応する。
 - ・田中副会長からダイバーシティの会費減免制度は他学会に比べて手厚いので、制度変更について正副会長会議でも検討を進めるとの意見があった。

3) 継続教育システム委員会

- ・特になし

4) その他

- ・特になし

6. 会員処理

1) 請求書関係

- ・平成 31 年度第 1 回【コンビニ収納】会費請求：2019 年 1 月 21 日発送予定 資料-14 p. 64
- ・平成 30 年度第 3 回【口座引落】：数件のため行わない → 個別に請求書送付済み
- ・平成 31 年消費税 10%への変更に伴う【Soils and Foundations 購読料】の価格表示変更 → 1 月の会費請求時は増税前のため、これまでと同様の金額 (16,200 円(税込)または 8,100 円(税込)) で請求する
 - ・事務局より資料を元に説明があった。
 - ・6. 会員処理の「処理」はイメージが悪いので、事務局は適切な用語に変更する。

2) 学生会員アンケートの送付

資料-15 pp. 65~ 70

- ・個人は会費請求書に同封、職場班は班長に郵送。また、学生会員全員(メールアドレスがデータベースに登録されている会員)にメールでも配信。
 - ・事務局より資料を元に説明があった。
 - ・学生会員は卒業時に退会し社会人になってから正会員に入会する方法もあるのではないかと意見があった。
 - ・会費減免制度や学生会員区分については、年齢のみを指標にすると事務作業や会員変更等の手続き軽減に繋がるのではないかと意見があった。
 - ・これらについては継続審議とする。

3) 特別会員からの依頼 (別団体への登録変更希望)

資料-16 p. 71

- ・事務局より資料を元に説明があった。
- ・双方の組織が存在しているので、株式会社マルシンは退会、日本杭抜き協会は入会とする。

7. 新入会, ダイバーシティ制度申請, 被災による会費減免申請

1) 12 月入会申請 (メール審議済)

2) 12 月会費減免申請 (メール審議済)

- ・入会時のフォーマット変更後は、一覧表に必須項目を反映し1月の理事会資料から対応する。

8. その他

1) 第 21 回事業企画賞

資料-17 p. 75

- ・審査締切：12 月 14 日 → 全員提出 → 事務局整理中

- ・事務局より資料を元に説明があった。
- ・石井部員と事務局で整理する。

2) 過年度未収金

資料-18 p.76

- ・事務局の活動は全て記載する。
- ・該当者は認識しているので、産休中であっても組織として対応して頂く。

3) WEB 入会フォーマットについて

- ・議題4. ほかに関連して「会員及び支部に関する規程」や「公益社団法人地盤工学会規則」について、入会時に同意を求める必要があるという意見があった。事務局主導で、現行システムで追加費用が発生しない範囲での対応を検討する。

9. 次回の部会

- ・平成31年2月中旬から3月上旬で日程調整を行う。
- ・小田部部長から次回から来期の部会体制について検討していくとの発言があった。
- ・事務局は部員の任期がわかる資料を用意する。

-以上-